

「CO・OP アーカイブズセミナー 人と歴史に学ぶ」(第6期)のご案内

日本生協連資料室

1. 「CO・OP アーカイブズセミナー」(旧名：資料室土曜講座)のこれまでの経過

2014年度より資料室を土曜日に開室することにし、生協の役職員が自主学習のための資料室活用を奨励するためのきっかけづくりとして「日本生協連資料室 土曜講座」をスタートしました。その後、2016年度より生協に関心のある方や生協を研究対象とされる方々に広く参加を呼びかけることとし、これまで5期の開催を重ねてきています。

※これまでの開催テーマ等は、末尾の参考のページをご参照ください。

2. 「CO・OP アーカイブズセミナー 人と歴史に学ぶ」2019年度企画案

- 開催時期：2019年9月～2020年1月のいずれも土曜日（4回企画）
- 時間帯：16時～18時に設定（およそ講義60分、質疑応答60分）
- 開講場所：主婦会館プラザエフ5階第1・第2会議室
- 受講対象：日本生協連グループで働く方々、OB・OGの方、生協を研究対象とされる方、生協に関心のある方
- 参加費：無料
- 参加申込み方法：別紙受講申込書にご記入の上、EメールまたはFAXでお送りください。



(1)第1回：2019年9月28日(土)

昭和初期の米よこせ運動の歴史に学ぶ

講師＝四津谷伸子さん：和敬保育園元園長

ゲストコメンテーター＝斎藤嘉璋さん：元日本生協連常務理事、元生協総合研究所専務理事

1932年（昭和7）東京を中心に行われた政府米低価格払下げ運動。日本無産者消費組合聯盟（れんめい）（日消聯）と傘下の関東消費組合聯盟（関消聯）が呼びかけた。当時の「米よこせ母子像」を1970年代に再建する募金運動が取り組まれ、正副像が日本生協連と大学生協連にそれぞれ寄贈された。しかしながら大学生協連の像は本部移転時に失われた。

日本生協連の像は渋谷移転後にコーププラザ2階に設置されているが、由来の説明パネルも側面で見えにくく、歴史が継承されていない。講師は戦前に京都消費組合→東京で消費組合の専従をされ、米よこせ運動に参加されていた近藤一男・糸子夫妻の次女で、戦後も本蓮沼生協で活動されていた両親を見て育っている。「米よこせ母子像」再建募金運動で作成されたミニチュア像をセミナー当日に展示する。

※左の写真は、旧生協会館7階講堂前ロビーに設置されていた母子像。

〔参考文献〕

- 山本秋/著『昭和米よこせ運動の記録』1976年7月(白石書店)

- 近藤一男/編『近藤糸子遺稿集 野の花のように』1978年12月(私家版)
- 四津谷伸子/編『近藤一男遺稿集 雑草のように』1987年6月(私家版)
- 婦人団体連合会『婦人通信』2015年7月No.679～2016年6月No.689
四津谷伸子/連載「子どもと平和ひとすじに～治安維持法犠牲者の遺族として～」(全11回)

(2)第2回：2019年1月2日(土)

全国消団連に結集した消費者運動に学ぶーPL法制定を実現した力の源は？

講師＝太田吉泰さん：元日本生協連役員室長、元全国消団連事務局長

1950年代に生協が中心になって反消費者立法を阻止するための運動の高揚の中で「全国消費者大会」が開催され、1956年に全国消団連が結成された。1994年に製造物責任法(PL法)が制定され、その後もPLオンブズ会議が監視活動を続けている。消費者運動の火は今も燃えているか？！

〔参考文献〕

- 消費者のための製造物責任法の制定を求める全国連絡会『「消費者の権利」確立をめざしてーPL法制定運動の記録ー』1997年4月、●『PL法制定運動資料』(保存用合本資料)、
- 全国消費者大会実行委員会『全国消費者大会資料』1994年第33回「PL法を実現したパワーを生かそう!!」、ほか歴年分

(3)第3回：2019年12月7日(土)

戦前から戦後の東京の生協の人と歴史に学ぶー城西消費組合を中心に

講師＝三浦一浩さん：(一財)地域生活研究所研究員

ゲストコメンテーター＝斎藤嘉璋さん：元日本生協連常務理事、元生協総合研究所専務理事

東大YMCAメンバーが中心になって設立された家庭購買組合(吉野作造理事長)設立から今年で100年。戦前の東京には戦前最大の生協だった家庭購買組合、賀川豊彦が指導した江東消費組合、労働者を中心にした共働社など関東消費組合連盟系等々、多様な「生協」が存在した。ここでは中央線沿線で活動した城西消費組合を中心に、それらの生協の活動と、戦後の生協とのつながりを学ぶ。

〔参考文献〕

- 東京都生協連創立30周年記念歴史編集委員会/編『東京の生協運動史』1983年1月、
- 木村正枝/著『消費組合小史』1980年7月、●くらしと協同の研究所 協同組合史研究会/編『歴史資料集第6号「家庭購買組合」ー設立から解体へー』2001年9月、
- 鶴見太郎/著『橋浦泰雄伝 柳田学の大いなる伴走者』2000年1月(晶文社)、●折井美耶子・生方孝子・宮崎黎子/編著『オーラル・ヒストリー 橋浦家の女性たち』2010年9月(ドメス出版)
- 新居格/著『杉並区長日記ー地方自治の先駆者・新居格』2017年11月(虹霓社)

(4)第4回：2020年1月25日(土)

戦後の焼け野原の中での生協誕生を描く映画「東京五人男」鑑賞と、生協の原点、理念を語り合う

ゲストコメンテーター＝斎藤嘉璋さん：元日本生協連常務理事、元生協総合研究所専務理事

＝三浦一浩さん：地域生活研究所研究員

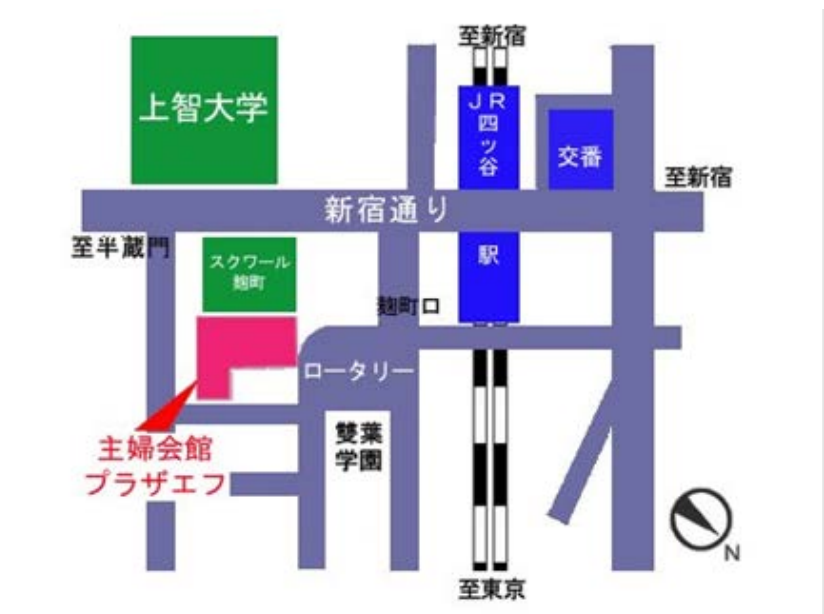
終戦直後、GHQは日本の民主化を進めるために労働組合と協同組合を推奨したが、この映画も

そのために政策的につくらせたようで、脚本にも検閲をしている。東京から遠い軍需工場で徴用工として働いていた五人の男が、終戦と共に焦土と化した東京へ帰って来た。闇の横行と飢餓と失業の中に喘いで人心は荒み、金持ちや権力者は悪徳商売や暴力団を仲間に入れて大衆の必需物資を秘かにかき集めて金を儲け、町を支配しようとしていた。堪忍袋の緒を切った五人は悪漢たちを葬るために奮起し、生活協同組合を設立して命とくらしを守ろうとした。戦前からの人気コメディアンであるエンタツ、アチャコ、古川緑波などが五人男に扮し、喜劇映画としても優れていて、NHK・BSで「山田洋次の選んだ名作100選」にも選ばれている。ゲストコメンテーターとともに鑑賞し、生協の原点、理念を語り合おう。

4. お問い合わせ・参加申込み先について

別紙の受講申込書を以下の事務局までお送りください。開講日の前日まで受け付けますが、なるべく早めにお申し込みくださいますようお願いいたします。

日本生活協同組合連合会 資料室 三崎 敬子
〒102-0085 東京都千代田区六番町15番地 主婦会館プラザエフ5階
TEL.03-5216-7760
FAX.03-5216-6035
E-MAIL:shiryou-toiawase アット jccu.coop
(アットを半角の@に変換してメールしてください)



【参考】

●「資料室土曜講座」第1期＝2014年度 第2期＝2015年度

受講対象を日本生協連グループで働く方々、OB・OGの方々に限定して開催。内容省略。

●「資料室土曜講座」第3期＝2016年度

統一テーマを「生協運動の現在につながるテーマについての先駆者に学ぶ」とし、4人の講師による企画。生協に関心のある方や生協を研究対象とされる方々にまで、広く参加を呼びかけることにした。以下、テーマの一覧。

第1回：柳田国男の消費組合論

第2回：戦前・戦後の生協の消費組合運動の女性リーダーとしての奥むめおに学ぶ

第3回：賀川豊彦と吉野作造から学ぶ

第4回：戦前の消費組合の組合員の活動について

●「資料室土曜講座」第4期＝2017年度 統一テーマを継承。以下、テーマの一覧。

第1回：日本生協連第3代会長・石黒武重氏から学ぶ

－異色の大物、協同組合を愛し、力を尽くす－

第2回：日本生協連第4代会長・中林貞男氏から学ぶ

－「平和とよりよい生活のために」を体現－

第3回：協同組合における参加型民主主義－組合員参加の再生をめざして－

●「CO・OP アーカイブズセミナー 人と歴史に学ぶ」(名称変更)

第5期＝2018年度 以下、テーマの一覧。

第1回：1970～80年代の日本の協同組合間提携の高揚をふりかえる

第2回：日本生協連第5代会長・高村勤氏から学ぶ

－賀川豊彦に導かれた生協人生－

第3回：ユネスコ文化遺産に登録された“協同組合の思想と実践”は今？！